

誰もが知る名曲で、
楽しく華やかな年明けを!

44th
Nagoya
Classic Festival
2026

金子三勇士 ピアノ
Miyuji Kaneko, piano
©Seichi Saito

トマーシュ・ネトピル 指揮
Tomas Netopil conductor
©Marco Bogner

プラハ交響楽団

Prague Symphony Orchestra



©Petra Hajska

ベートーヴェン:「エグモント」序曲

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73 「皇帝」

ドヴォルザーク:交響曲 第9番 ホ短調 op.95 「新世界より」

2027. **1.14** (木) 18:45開演(18:00開場) 愛知県芸術劇場コンサートホール

S¥18,000 A¥14,000 B¥9,000 C¥7,000 D¥5,000 U26¥2,000 [U26チケット]

※未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断りいたします。

公演当日26歳以下の方対象。入場時に年齢を証明できるものをご提示ください。



プレイガイド

Chuチケ:052-308-8282 (平日11:00~17:00)

チケットびあ:(Pコード:315-134) イープラス 芸文プレイガイド:052-972-0430

お問い合わせ

中京テレビクリエイション ☎052-588-4477 (平日11:00~17:00)



主催: 中京テレビクリエイション

※出演者、曲目等変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

チェコを代表するオーケストラの、深く温かい伝統の響き

チェコのオーケストラによるチェコの作曲家であるドヴォルザーク「新世界より」はまさに“本家”!

チェコ特有の音を守り続けるその独特の響きを存分にお楽しみください。

ソリストは、温かみのある人柄と、情熱的かつ繊細な演奏で多くのファンを獲得している金子三勇士。



トマーシュ・ネトピル(指揮) Tomáš Netopil, *Conductor*

チェコ音楽の第一人者として国際的に活躍する指揮者。2025/26シーズンよりFOKプラハ交響楽団の首席指揮者兼音楽監督に就任。これまでに、2018年から2024年までチェコ・フィルハーモニー管弦楽団の首席客演指揮者を務めた。また、エッセン歌劇場およびエッセン・フィルの音楽総監督(2013-2023)、プラハ国立歌劇場の音楽監督(2008-2012)などを歴任。これまでに、ウィーン国立歌劇場、ドレスデン国立歌劇場、ベルリン国立歌劇場、シカゴ・リリック・オペラ、ケルン市立歌劇場など、世界一流の歌劇場に客演している。オーケストラとの共演も幅広く、サンタ・チェチーリア管、フィレンツェ五月音楽祭管、オスロ・フィル、ウィーン・トーンクンストラ管などに客演。古楽器の分野でもコンチェルト・ムジクス・ウィーン、コレギウム1704などと活動。母国チェコでクロムニエジーシュ国際サマーアカデミーを創設し、芸術監督を務めるなど、後進の育成にも注力している。



金子 三勇士(ピアノ) Miyuji Kaneko, *Piano*

2008年ハルトーク国際ピアノコンクール優勝。6歳より単身ハンガリーに留学。11歳より飛び級でハンガリー国立リスト音楽院大学に入学、16歳で帰国した後、東京音楽大学付属高等学校に編入、清水和音、迫昭嘉、三浦捷子の各氏に師事。これまでにゾルタン・コチシュ、シルヴァン・カンブルラン、ジョナサン・ノット、小林研一郎、広上淳一、山田和樹、鈴木優人など、国内外の名だたる指揮者と共演。オーケストラではハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、プラハ交響楽団、NHK交響楽団などと共演。20カ国近く世界各地で演奏活動を行う。2026年には日本デビュー15周年を迎え、全国各地で記念コンサートを開催する。キシマロシ名誉市民。スタインウェイ・アーティスト。オフィシャルHP <https://miyuji.jp/>

©Seichi Saito



©Petra Hajská

プラハ交響楽団 Prague Symphony Orchestra

プラハ交響楽団(FOK)は、輝かしい伝統と国際的な評価を誇るチェコを代表するオーケストラ。プラハのコンサートシーンを豊かに彩り、チェコ文化を最高レベルで海外に発信している。プラハ市の公式オーケストラとして、市民会館スメタナ・ホールを拠点に活動している。これまでにハドルフ・ベカレック、ヴァーツラフ・スメターチェク、イルジー・ピエロフラーヴェク、ペトル・アルトリフテル、ガエターノ・デローグ、セルジュ・ボド、イルジー・コウト、ピエタリ・インキネン、トマーシュ・ブラウネルが首席指揮者を歴任し、2025/2026シーズンよりトマーシュ・ネトピルが務めている。毎シーズン、プラハで50以上のオーケストラコンサートを開催するほか、シーズン開幕前にはヴァレンシュタイン庭園で伝統的な無料野外コンサートを開催。国外ではヨーロッパ、米国、南米、プエルトリコ、台湾、トルコ、イスラエル、オマーン、中国、日本などの国々にも訪れている。オーケストラの長い伝統は、蓄音機・ラジオ・テレビ録音の膨大なカタログによって記録されており、その一部はオンラインで公開されている。また、1930年代のチェコ映画の大半の音楽をこのオーケストラが録音した。近年は、ドヴォルザーク『スラヴ舞曲』、『プラハ1968年のための音楽』を含むカレル・フサの作品、そしてルーカス・ヴォンドラチェックをソリストに迎えたセルゲイ・ラフマニノフのピアノ協奏曲を録音している。

